

業種別業況動向調査結果(令和3年4－6月期)

令和3年8月
北海道経済部経済企画課

- 調査時期 令和3年7月
- 調査方法 道内経済・産業団体からの聞き取り及びアンケート形式による調査
- 調査団体 機械（機械工業会）、IT（IT推進協会）
食品（菓子工業組合）、商店街（商店街振興組合連合会）
卸売市場（市場協会）
観光（全国旅行業協会北海道支部、日本ホテル協会北海道支部）
建設（建設業協会）、運輸（トラック協会）、金融（信用保証協会）
経済団体（商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会）
- 調査項目
- I 一般調査
- 1 業界の動向について（現状と今後の見通し）
（1）業況感 （2）売上高、売上単価 （3）原材料、燃料、仕入価格
（4）収益 （5）設備投資 （6）雇用 （7）資金繰り
- 2 業界として抱える問題点・課題について
- 3 道の施策等に対する意見、要望について
- II 特別調査
- 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について
会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

－目次－

機械工業会	・・・	P 1
IT推進協会	・・・	P 3
道菓子工業組合	・・・	P 5
商店街振興組合連合会	・・・	P 6
市場協会	・・・	P 8
旅行業協会	・・・	P 11
ホテル協会	・・・	P 12
建設業協会	・・・	P 14
トラック協会	・・・	P 16
商工会議所連合会	・・・	P 18
商工会連合会	・・・	P 20
中小企業団体中央会	・・・	P 23
信用保証協会	・・・	P 36

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
(1) 業界団体における業況感 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] (非常に悪い・悪い・やや悪い・ 横ばい ・やや良い・良い・非常に良い) [見通し] (非常に悪い・悪い・やや悪い・ 横ばい ・やや良い・良い・非常に良い)
(2) 売上高、売上単価の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・23.3%が増加 39.5%が減少 [見通し] ・22.9%が増加 39.7%が減少
(3) 原材料、燃料、仕入価格の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・2.3%が下落 66.5%が上昇 [見通し] ・4.2%が下落 71.6%が上昇
(4) 収益の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・16.7%が増加 43.3%が減少 [見通し] ・14.5%が増加 45.8%が減少
(5) 設備投資の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・11.2%が増加 16.3%が困難 [見通し] ・12.1%が増加 16.8%が困難
(6) 雇用の動向 ①現状（４－６月期）の人手過不足 （正規、非正規別の状況等） ②来期（７－９月期）の見通し ・人手余剰の場合の雇用調整等 ・人手不足の場合の採用等	[人手過不足の現状] ・人手不足と感じている企業 62.8% [人手余剰の場合の雇用調整等の予定] ・求人枠を減らす [人手不足の場合の採用の予定] ・中途採用の開始、若年層・新卒採用の強化
(7) 資金繰りの動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・2.8%が好転 11.2%が悪化 [見通し] ・2.3%が好転 11.2%が悪化

2 業界として抱える問題点・課題について

・当会の景況調査において経営上の問題点として、原材料仕入価格上昇が 65.1%、人手不足が 45.6%、売上不振が 38.1%の順となった。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・電気料金値下げ、再生可能エネルギー利用拡大、コスト低減。
- ・電力供給、需給の安定化。
- ・無金利融資期限の3年を伸ばしてほしい。
- ・コロナやその他補助金・助成金など、詳しい内容が知りたいです。
- ・政府・与党に対して、新規国債を発行してお金をゼロから作り対応するよう要求してください。
 - ①消費税廃止（もしくはゼロ）②当面の間全国民に10万円給付。
 - ③企業には、当面の粗利保障と休業補償 ④新型コロナウイルス対策にふんだんに予算をつける（ワクチンにだけ頼らず、新型コロナウイルスに感染しても平気な医療体制を構築しつつ、科学的に対処して終息させる）。利益というのは、経済の一部を切り取ったミクロ経済でしか存在しません。国が関係する部門すべてを見るマクロ経済では、利益は存在しません。国を無理して黒字にしたら、民間が赤字になるだけです。お金は国全体で見るとデータとルールにすぎません。実態ある需要と供給力を重視するよう、政府・与党に訴えてください。
- ・コロナの影響を受け、仕事量が減少しています。それに加えて、東京ナンバーの車も目立ち、関西からも観光客や仕事（ビジネス）で来ています。コロナが落ち着くまでは、往来をやめてほしいと思います。行き来しなくても仕事はできます。観光のためにほかの産業や中小企業が無くなるようでは困ります。資金調達の施策を打ち出してほしい。長く続くと持ちません。
- ・コロナワクチンの接種率を向上させてください。（47都道府県中46位はおかしい）
- ・電気料金下げて欲しいので発電所の増強ねがう。
- ・工場などの設備投資に関する補助金等を強化して欲しい。
- ・勤怠管理システムの導入、受注先との工期の調整。
- ・新型コロナウイルスのワクチン接種を迅速化させ、業務や生活を安定させるためにも、ワクチンの配布量や接種時期等の明確化を政府へしっかり提言してほしい。
- ・札幌エアークラフトサプライヤークラブ（SACSuC）の4社にて北海道地域での航空機産業サプライチェーンの形成の事業が「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」にて採択されたが、航空機産業の道内企業のサプライチェーン構築のための補助が少ないような印象がある。航空事業には莫大な費用が必要なため、道の施策として製造業（ものづくり分野）を活性化するため人材雇用及び設備投資での大規模な補助をお願いしたい。

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

- ・消毒液の設置 93.5%
- ・マスクの着用 92.1%
- ・手洗いや咳エチケットの徹底 90.7%
- ・出張・会議・イベントの規制 65.6%
- ・朝の体温確認 55.0%

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

・テレワークや在宅勤務、時差出勤、休暇の取得促進等

団体名：北海道菓子工業組合

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
(1) 業界団体における業況感 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] (非常に悪い・悪い・やや悪い・ 横ばい ・やや良い・良い・非常に良い) [見通し] (非常に悪い・悪い・やや悪い・ 横ばい ・やや良い・良い・非常に良い)
(2) 売上高、売上単価の動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] ・増加している [見通し] ・第5波の影響を懸念している
(3) 原材料、燃料、仕入価格の動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] ・横ばい [見通し] ・横ばい
(4) 収益の動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] ・増加した [見通し] ・横ばいが現実的
(5) 設備投資の動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[見通し] ・感染対策、入口出口導線別
(7) 資金繰りの動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] ・維持している [見通し] ・維持される

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・コロナ対策
- ・デジタル化

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・円滑な資金供給を維持してほしい

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

- ・宅配業者との連携
- ・店内造作の変更
- ・感染防止に向けた機材（体温計測器、空気清浄器、アクリル板、換気対策費）

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
(1) 業界団体における業況感 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い）</p> <p>[見通し] （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い）</p>
(2) 売上高、売上単価の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・ほぼすべての業種で売上が回復していない状況にある。</p> <p>[見通し] ・新型コロナウイルス感染症の収束の状況にもよるが、まん延防止等重点措置の適用が終了し、営業時間に制約がなくなれば売上好転の兆しも見えてくると思われる。</p>
(3) 原材料、燃料、仕入価格の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・原料、燃料、仕入価格とも高騰している。</p> <p>[見通し] ・新型コロナウイルス感染症が収束に向かえば、好転の兆しが 見えてくるものと思われる。</p>
(4) 収益の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・ほぼすべての業種で厳しい状況が続いている。</p> <p>[見通し] ・新型コロナウイルス感染症が収束に向かえば、好転の兆しが 見えてくるものと思われる。</p>
(5) 設備投資の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・新型コロナウイルス感染症拡大による業績不振等により、設備投資に向かう事業者は極めて少ない。</p> <p>[見通し] ・新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中では、投資に向かう事業者は極めて少ないと予測される。</p>
(6) 雇用の動向 ①現状（４－６月期）の人手過不足 （正規、非正規別の状況等） ②来期（７－９月期）の見通し ・人手余剰の場合の雇用調整等 ・人手不足の場合の採用等	<p>[人手過不足の現状] ・新型コロナウイルス感染拡大による業績不振で、雇用の維もままならない状況にある。</p> <p>[人手余剰の場合の雇用調整等の予定] ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引き、また、雇用調整助成金等の支援施策がなくなれば、雇用調整を行わなければならない状況に陥る恐れがある。</p>
(7) 資金繰りの動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・新型コロナウイルス感染症拡大による景況の悪化により、資金繰りは引き続き厳しい状況にある。</p> <p>[見通し] ・新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中では、今後も厳しい状況が続くと想定される。また、これまでの融資の据え置き期間が終了し、返済が始まればさらに資金繰りの悪化が懸念される。</p>

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・少子高齢化や人口減少による来街者の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業環境の悪化により、会員の退店や廃業、倒産が相次ぎ、商店街組織の維持運営が難しい状況にあり、商店街活動の衰退が懸念される。
- ・また、商店街は単に買物やサービスの提供の場だけではなく、地域の公共的な高度生活インフラとしての役割を担っており、まちづくりを支える中核的組織としての位置づけを明確化していく必要がある。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化するにつれ、組合員の経営体力が限界に近づいており、商店街活動の存続が危惧される状況にある。感染症拡大防止と消費拡大を両立させる商店街域内消費喚起事業へのさらなる支援をいただきたい。
- ・商店街の担う公共的役割を理解いただき、まちづくりを支える中核的組織としての活動に対する支援をいただきたい。

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

- ・理事会、通常総会等については議決権行使書の提出により会員を参集することなく実施した。また事業の打ち合わせや会議等は可能な限りリモートで行っている。
- ・緊急事態宣言下においては、在宅勤務を行った。

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
(1) 業界団体における業況感 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>〔現状〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い） ○水産市場 ・悪い～やや良い※（地域差あり：以降※印） ○青果市場 （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い） <p>〔見通し〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い） ○水産市場 ・悪い～やや良い※ ○青果市場 （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い）
(2) 売上高、売上単価の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>〔現状〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 ・巣ごもり需要が落ち着き需要減、単価安傾向 ○水産市場 ・前年割れ～前年と比べ売上及び単価の増※ ○青果市場 ・前年と比べ数量減の単価増で売上はやや下回った <p>〔見通し〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 ・持直しに期待 ○水産市場 ・前年比若干悪い～売上高、単価ともに上伸予想※ ○青果市場 ・前年並み売上高を見込む
(3) 原材料、燃料、仕入価格の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>〔現状〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 ・仕入価格、原材料、資材全般上昇傾向 ○水産市場 ・横ばい～前期より原材料、仕入価格はやや上昇※ ○青果市場 ・前年同期比不変 <p>〔見通し〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 ・上昇傾向の一層の進展 ○水産市場 ・原材料、仕入価格は前期比上昇の見通し ○青果市場 ・前年同期比不変
(4) 収益の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>〔現状〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 ・量的拡大が見込めない中での利益確保に苦戦 ○水産市場 ・厳しい～前年同期比若干良い※

	<p>○青果市場 ・前年に比べ収益率が増加</p> <p>【見通し】</p> <p>○総合市場 ・現状と同傾向</p> <p>○水産市場 ・厳しい～前年同期比若干上向き予想※</p> <p>○青果市場 ・前年並みを見込む</p>
<p>(5) 設備投資の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し</p>	<p>【現状】</p> <p>○総合市場 ・維持費の範囲で推移</p> <p>○青果市場 ・プッシュバックラック等の導入、維持更新</p> <p>【見通し】</p> <p>○総合市場 ・小規模改善工事の範囲</p> <p>○青果市場 ・1×1パレット用ネステナー導入、維持更新</p>
<p>(6) 雇用の動向 ①現状（４－６月期）の人手過不足 （正規、非正規別の状況等） ②来期（７－９月期）の見通し ・人手余剰の場合の雇用調整等 ・人手不足の場合の採用等</p>	<p>【人手過不足の現状】</p> <p>○総合市場 ・適正規模</p> <p>○水産市場 ・現状では適正、従業員の高齢化</p> <p>○青果市場 ・作業パート職員若干不足</p> <p>【人手不足の場合の採用の予定】</p> <p>○水産市場 ・例年どおり採用</p> <p>○青果市場 ・随時採用</p>
<p>(7) 資金繰りの動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し</p>	<p>【現状】</p> <p>○総合市場 ・従来どおり</p> <p>○水産 ・大きな変化なし</p> <p>○青果市場 ・特に問題なし</p> <p>【見通し】</p> <p>○総合市場 ・現状のまま推移</p> <p>○水産市場 ・大きな変化なし</p> <p>○青果市場 ・特に問題なし</p>

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・ワクチン接種の進展による感染症の終息時期と食料品需要の変化の有無についての見通し
- ・新型コロナウイルス感染症による外食産業の低迷及び販売量の減少
- ・水産資源の減少への危惧と諸外国への水産物流出
- ・国内外での持続可能な水産資源管理の推進
- ・多様化する社会への順応出来る人材の確保と育成
- ・物流改革及び働き方改革の対策
- ・デジタル化の加速や食品流通の変化への対応と販売戦略の構築

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・補助金の活用や業界連携等に関する取組の提案
- ・新型コロナ感染症対策の強力な施策を要望
- ・現状での国内の飲食業、観光業、食品流通業等の困窮において、全国的な中でも道内の状況は悪化していることから各業界への適切な支援策に期待

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

- ・会議、社内外打合せ等は積極的にWeb会議を多用
- ・全役職員でのテレワーク、在宅勤務、時短就業、特別休暇等の実施
- ・取引先とのリモート会議
- ・市外、道外の不要不急の出張、外勤の自粛
- ・来客人数の限定
- ・取引先及び内部飲食の自粛
- ・ワクチン接種進展による感染症の終息時期と食料品需要の変化の有無についての見通し
- ・希望する従業員へのワクチン接種機会の方策検討と推進
- ・必要時でのPCR検査の積極的な実施
- ・事業所内で衝立等の感染防止備品の導入
- ・事業所及び食堂内デスクスクリーン設置、定期的なマスク配布、体温測定器、消毒機器の設置

団体名：（一社）全国旅行業協会北海道支部

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
(1) 業界団体における業況感 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] (非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い) [見通し] (非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)
(2) 売上高、売上単価の動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] ・非常に厳しい [見通し] ・非常に厳しい
(4) 収益の動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] ・非常に厳しい [見通し] ・非常に厳しい
(5) 設備投資の動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] ・無し [見通し] ・無し
(7) 資金繰りの動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] ・非常に厳しい [見通し] ・非常に厳しい

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・早急に新しい旅のスタイルを実施してもらいたい。特に札幌を除外されると非常に厳しい。
- ・緊急事態宣言、まん延防止等で引き続き厳しい状況は変わらない。飲食店ばかりではなく、旅行会社にも手厚い支援をお願いしたい。

団体名：（一社）日本ホテル協会北海道支部

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
(1) 業界団体における業況感 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] (非常に悪い)・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い) [見通し] (非常に悪い)・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)
(2) 売上高、売上単価の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・2019年比で5割の売上もない。宿泊部門では3割以下。 前年比では休業も多くあったので比較にならない。 [見通し] ・新型コロナの脅威により更に悪化の見通し。
(3) 原材料、燃料、仕入価格の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・横ばい。 [見通し] ・不透明。
(4) 収益の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・2019年比で70～90%減。悪化している。 [見通し] ・悪化する見通し。
(5) 設備投資の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・動きなし。 [見通し] ・動く要素が見当たらない。
(6) 雇用の動向 ①現状（４－６月期）の人手過不足 （正規、非正規別の状況等） ②来期（７－９月期）の見通し ・人手余剰の場合の雇用調整等 ・人手不足の場合の採用等	[人手過不足の現状] ・人員過剰が続いている。 [人手余剰の場合の雇用調整等の予定] ・助成金の活用を続けている。
(7) 資金繰りの動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状] ・悪化。 [見通し] ・更に厳しくなる。

2 業界として抱える問題点・課題について

・新型コロナ感染拡大が続く限り改善は見込めない。ワクチン接種が進み、安心して人流が回復した時に本来のサービス提供できるか不安もある。

3 道の施策等に対する意見、要望について

・感染予防対策徹底、ワクチン接種を幅広い世代に迅速に進めてください。
・休業に対しての助成拡充をお願いいたします。

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

- ・ 宿泊、飲食、宴会場利用など、本来人的接客サービスの商売です。
- ・ 非対面での打ち合わせなどを進めていますが、先が見通せない状況では新規予約も入りません。

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
(1) 業界団体における業況感 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い）</p> <p>[見通し] （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い）</p>
(2) 売上高、売上単価の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・受注総額は「減少」傾向が強まっている。 ・官公庁工事は「減少」傾向が強まっており、民間工事は「減少」傾向がやや強まっている。</p> <p>[見通し] ・受注総額は、「減少」傾向が強まる見通しとなっている。 ・官公庁工事は「減少」傾向が強まり、民間工事は「減少」傾向がやや強まる見通しとなっている。</p>
(3) 原材料、燃料、仕入価格の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・資材の調達は、「困難」傾向がやや強まっている。 ・資材価格は、「上昇」傾向が強まっている。</p> <p>[見通し] ・資材の調達は、「困難」傾向が続く見通しとなっている。 ・資材価格は、「上昇」傾向が続く見通しとなっている。</p>
(4) 収益の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・減少傾向がやや強まっている。</p> <p>[見通し] ・減少傾向が強まる見通しとなっている。</p>
(5) 設備投資の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・減少している。</p> <p>[見通し] ・増加する見込みとなっている。</p>
(6) 雇用の動向 ①現状（４－６月期）の人手過不足 （正規、非正規別の状況等） ②来期（７－９月期）の見通し ・人手余剰の場合の雇用調整等 ・人手不足の場合の採用等	<p>[人手過不足の現状] ・建設労働者の確保は、困難傾向がやや強まっており、今後も困難傾向が続く見通し。</p> <p>[人手不足の場合の採用の予定] ・各社、技術者及び技能労働者の募集を行っているが、不足分は、派遣社員で補っている。</p>
(7) 資金繰りの動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・容易傾向が続いている。</p> <p>[見通し] ・容易傾向がやや弱まる見通し。</p>

2 業界として抱える問題点・課題について

・経営上の問題点は、①人手不足、②従業員の高齢化、③受注の減少、が上位３項目となっており、「人手不足」は20期連続で経営上の問題点1位。同じく「従業員の高齢化」は18期連続で2位となっている。

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

- ・ 対面会議をW e b 会議に変更
- ・ 週に1回在宅勤務（緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置時）

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
(1) 業界団体における業況感 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い）</p> <p>[見通し] （非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い）</p>
(2) 売上高、売上単価の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・輸送量はコロナ禍の影響が続いており、宅配など増加している分野もあるが、全体的には低調な推移が続いている。</p> <p>[見通し] ・コロナ禍の収束見通しが立っておらず、輸送品目により増減があるが、今後も輸送量及び収益の改善見通しは立っていない。</p>
(3) 原材料、燃料、仕入価格の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・燃料（軽油）価格は前期と比べ値上がり傾向。</p> <p>[見通し] ・燃料（軽油）価格は原油価格世界情勢に左右されるので不透明。</p>
(4) 収益の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・コロナ禍による輸送量の減少に加え、燃料価格等のコストも上昇しており、収益回復に兆しは見られない。</p> <p>[見通し] ・来期についても今期同様の傾向が続く見通し。</p>
(5) 設備投資の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・収益が悪化している状況であり、設備投資は進んでいない。</p> <p>[見通し] ・コロナ禍の影響による収益悪化の改善見通しが立たないため、しばらくの間、設備投資は進まない見通し。</p>
(6) 雇用の動向 ①現状（４－６月期）の人手過不足 （正規、非正規別の状況等） ②来期（７－９月期）の見通し ・人手余剰の場合の雇用調整等 ・人手不足の場合の採用等	<p>[人手過不足の現状] ・新規雇用が進んでおらず、ドライバーの高齢化等により、ドライバー不足の状況が続いている。</p> <p>[人手不足の場合の採用の予定] ・業界としてドライバー採用拡大を図りたいが、担い手が集まらない状況。また、コロナ禍による業績悪化で賃金アップ等の労働環境の改善も進まず、雇用にも影響が出ている。</p>
(7) 資金繰りの動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	<p>[現状] ・会員からは特に問題は聞かれない。</p> <p>[見通し] ・コロナ禍の影響により収益改善の見通しが立たないため、今後の資金繰りの悪化が懸念される。</p>

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・北海道の物流は「広域・長距離輸送」及び「札幌圏集中による片荷輸送」や「一次産品等の季節波動」が顕著であり、加えて運転者不足や高齢化、働き方改革への対応等により「運びたくても運べない」という状況となっており、人材確保や労働規制への対応等の経営課題が山積している状況が続いている。
- ・人材確保や労働環境改善を進めるためには、適正な運賃・料金の収受が不可欠であり、そのためには運送委託者（荷主）の理解と協力が必要であるが、他業種も同様の課題を抱えており、改善がなかなか進まない状況であり、対応に苦慮している。
- ・上記の既存課題に加えて、コロナ禍の影響による収益減少及び運賃単価の下落等の課題が加わり、状況は悪化している。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・エッセンシャルワーカーである運送事業者ドライバーへのコロナウイルスワクチンの優先接種を望む。
- ・コロナウイルスの影響により収益が減少した事業者への対策を望む。
- ・景気浮揚対策を望む。
- ・北海道内の高規格幹線道路及び一般道のインフラ整備促進を望む。
- ・北海道ブランドの維持・拡大のため、道外へ輸送するための物流コストに対する支援を望む。
- ・公共事業の輸送費関連の積算単価はやや上昇しているが、事業受託企業から実運送事業者へ支払われる輸送費が原価割れを起こす事例もあり、適正な運賃が支払われるよう指導されることを望む。
- ・公共事業の工期が集中しており、ドライバー不足等により車両の確保が出来ない事例があるので、公共事業の工期の平準化等の対策を望む。
- ・災害時等における、道路の安全確保対策と燃料の安定供給・確保対策を望む。

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

- ・エッセンシャルワーカーである運送事業者ドライバーへのコロナウイルスワクチンの優先接種を関係行政等へ要望しているが、実現には至っていない。
- ・運行前、運行後の点呼のオンライン化やA Iロボットによる取組が進んでいるが、費用面に課題がある。
- ・トラック運送事業においては、荷主や荷受けの企業や個人等の理解と協力が必要であり、自社のみでの取組だけでは完全な対策が出来ない事が課題。
- ・収益が落ちている中での、コロナ対策への取組に掛かる費用が重荷となっており、十分な取組が進められない企業があることも課題。

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容					
(1) 業界団体における業況感 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状]		[見通し]			
	全業種	▲ 27.2	全業種	▲ 31.7		
	製造	▲ 33.9	製造	▲ 35.3		
	建設	▲ 15.3	建設	▲ 21.9		
	卸売	▲ 29.5	卸売	▲ 34.6		
	小売	▲ 25.7	小売	▲ 33.8		
	サービス	▲ 31.6	サービス	▲ 32.6		
(2) 売上高、売上単価の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[現状]		[見通し]			
	全業種	▲ 19.6	全業種	▲ 28.4		
	製造	▲ 13.3	製造	▲ 16.9		
	建設	▲ 22.0	建設	▲ 25.0		
	卸売	▲ 17.8	卸売	▲ 33.9		
	小売	▲ 16.7	小売	▲ 34.3		
	サービス	▲ 28.0	サービス	▲ 31.7		
(4) 収益の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し ※採算	[現状]		[見通し]			
	全業種	▲ 22.7	全業種	▲ 30.7		
	製造	▲ 20.4	製造	▲ 33.3		
	建設	▲ 8.3	建設	▲ 33.3		
	卸売	▲ 32.3	卸売	▲ 22.6		
	小売	▲ 24.3	小売	▲ 31.4		
	サービス	▲ 28.3	サービス	▲ 33.0		
(5) 設備投資の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し	[今期実施した]					
	1. 今期					
	(単位%)					
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	17.3	19.3	25.4	6.9	17.4	17.7
土地	7.0	9.1	5.6	0.0	8.3	11.8
工場建物、建物、店舗	17.2	18.2	16.7	0.0	33.3	17.6
生産・販売・サービス設備、建設機械	20.5	45.5	16.7	0.0	16.7	23.5
車輻運搬具	27.9	18.2	44.4	25.0	16.7	35.3
倉庫・駐車場等の付帯施設	13.0	9.1	0.0	50.0	0.0	5.9
OA機器	33.6	27.3	38.9	25.0	41.7	35.3
厚生施設	2.9	9.1	5.6	0.0	0.0	0.0
その他	17.3	18.2	5.6	25.0	8.3	29.4
実施していない	82.7	80.7	74.6	93.2	82.6	82.3

	<p>[来期実施する]</p> <p>2. 来期</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全業種</th> <th>製造業</th> <th>建設業</th> <th>卸売業</th> <th>小売業</th> <th>サービス業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施する</td> <td>16.5</td> <td>24.1</td> <td>16.9</td> <td>8.5</td> <td>15.5</td> <td>17.7</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>9.2</td> <td>7.7</td> <td>8.3</td> <td>0.0</td> <td>18.2</td> <td>11.8</td> </tr> <tr> <td>工場建物、建物、店舗</td> <td>22.5</td> <td>7.7</td> <td>33.3</td> <td>20.0</td> <td>45.5</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>生産・販売・サービス設備、建設機械</td> <td>30.1</td> <td>38.5</td> <td>8.3</td> <td>20.0</td> <td>36.4</td> <td>47.1</td> </tr> <tr> <td>車輦運搬具</td> <td>30.0</td> <td>23.1</td> <td>50.0</td> <td>20.0</td> <td>27.3</td> <td>29.4</td> </tr> <tr> <td>倉庫・駐車場等の付帯施設</td> <td>20.2</td> <td>46.2</td> <td>25.0</td> <td>0.0</td> <td>18.2</td> <td>11.8</td> </tr> <tr> <td>OA機器</td> <td>24.4</td> <td>15.4</td> <td>25.0</td> <td>40.0</td> <td>18.2</td> <td>23.5</td> </tr> <tr> <td>厚生施設</td> <td>1.2</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>23.7</td> <td>23.1</td> <td>16.7</td> <td>40.0</td> <td>5.1</td> <td>29.4</td> </tr> <tr> <td>実施しない</td> <td>83.5</td> <td>75.9</td> <td>83.1</td> <td>91.5</td> <td>84.5</td> <td>82.3</td> </tr> </tbody> </table>			全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	実施する	16.5	24.1	16.9	8.5	15.5	17.7	土地	9.2	7.7	8.3	0.0	18.2	11.8	工場建物、建物、店舗	22.5	7.7	33.3	20.0	45.5	5.9	生産・販売・サービス設備、建設機械	30.1	38.5	8.3	20.0	36.4	47.1	車輦運搬具	30.0	23.1	50.0	20.0	27.3	29.4	倉庫・駐車場等の付帯施設	20.2	46.2	25.0	0.0	18.2	11.8	OA機器	24.4	15.4	25.0	40.0	18.2	23.5	厚生施設	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	その他	23.7	23.1	16.7	40.0	5.1	29.4	実施しない	83.5	75.9	83.1	91.5	84.5	82.3
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業																																																																									
実施する	16.5	24.1	16.9	8.5	15.5	17.7																																																																									
土地	9.2	7.7	8.3	0.0	18.2	11.8																																																																									
工場建物、建物、店舗	22.5	7.7	33.3	20.0	45.5	5.9																																																																									
生産・販売・サービス設備、建設機械	30.1	38.5	8.3	20.0	36.4	47.1																																																																									
車輦運搬具	30.0	23.1	50.0	20.0	27.3	29.4																																																																									
倉庫・駐車場等の付帯施設	20.2	46.2	25.0	0.0	18.2	11.8																																																																									
OA機器	24.4	15.4	25.0	40.0	18.2	23.5																																																																									
厚生施設	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9																																																																									
その他	23.7	23.1	16.7	40.0	5.1	29.4																																																																									
実施しない	83.5	75.9	83.1	91.5	84.5	82.3																																																																									
<p>(6) 雇用の動向</p> <p>①現状（4－6月期）の人手過不足（正規、非正規別の状況等）</p> <p>②来期（7－9月期）の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人手余剰の場合の雇用調整等 ・ 人手不足の場合の採用等 	<p>[現状]</p> <p>全業種 ▲ 14.6</p> <p>製造 ▲ 12.3</p> <p>建設 ▲ 30.5</p> <p>卸売 ▲ 14.1</p> <p>小売 0.0</p> <p>サービス ▲ 16.3</p>																																																																														
<p>(7) 資金繰りの動向</p> <p>現状（4－6月期）</p> <p>来期（7－9月期）の見通し</p>	<table border="0"> <tr> <td>[現状]</td> <td></td> <td>[見通し]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全業種</td> <td>▲ 22.2</td> <td>全業種</td> <td>▲ 25.1</td> </tr> <tr> <td>製造</td> <td>▲ 25.4</td> <td>製造</td> <td>▲ 26.8</td> </tr> <tr> <td>建設</td> <td>▲ 6.9</td> <td>建設</td> <td>▲ 19.4</td> </tr> <tr> <td>卸売</td> <td>▲ 26.3</td> <td>卸売</td> <td>▲ 32.8</td> </tr> <tr> <td>小売</td> <td>▲ 21.2</td> <td>小売</td> <td>▲ 24.7</td> </tr> <tr> <td>サービス</td> <td>▲ 31.2</td> <td>サービス</td> <td>▲ 21.9</td> </tr> </table>	[現状]		[見通し]		全業種	▲ 22.2	全業種	▲ 25.1	製造	▲ 25.4	製造	▲ 26.8	建設	▲ 6.9	建設	▲ 19.4	卸売	▲ 26.3	卸売	▲ 32.8	小売	▲ 21.2	小売	▲ 24.7	サービス	▲ 31.2	サービス	▲ 21.9																																																		
[現状]		[見通し]																																																																													
全業種	▲ 22.2	全業種	▲ 25.1																																																																												
製造	▲ 25.4	製造	▲ 26.8																																																																												
建設	▲ 6.9	建設	▲ 19.4																																																																												
卸売	▲ 26.3	卸売	▲ 32.8																																																																												
小売	▲ 21.2	小売	▲ 24.7																																																																												
サービス	▲ 31.2	サービス	▲ 21.9																																																																												

2 業界として抱える問題点・課題について

※各業種で1～3位にあげられた項目

製造業・・・①需要の停滞、②原材料価格の上昇、③人件費の増加

建設業・・・①従業員の確保難、②官公需要の停滞、③熟練技術者の確保難

卸売業・・・①需要の停滞、②仕入単価の上昇、③従業員の確保難

小売業・・・①需要の停滞、②消費者ニーズの変化への対応、③大型・中型店進出競争の激化

サービス業・・・①需要の停滞、②利用者ニーズの変化への対応、③人件費の増加

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

時差出勤、テレワーク、職員の自席間にパーティション設置

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
<p>(1) 業界団体における業況感 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し</p>	<p>[現状] ■業況 【製造業】前年同期比 DI 値＝▲32.7P 【建設業】前年同期比 DI 値＝▲2.4P 【小売業】前年同期比 DI 値＝▲35.0P 【サービス業】前年同期比 DI 値＝▲48.6P [見通し] ■業況 【製造業】前年同期比 DI 値＝▲26.6P 【建設業】前年同期比 DI 値＝▲2.4P 【小売業】前年同期比 DI 値＝▲43.8P 【サービス業】前年同期比 DI 値＝▲44.7P</p>
<p>(2) 売上高、売上単価の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し</p>	<p>[現状] ■売上高 【製造業】売上(加工)額 前年同期比 DI 値＝▲22.0P 【建設業】完成工事(請負工事)額 前年同期比 DI 値＝▲ 2.3P 【小売業】売上額 前年同期比 DI 値＝▲25.3P 【サービス業】売上(収入)額 前年同期比 DI 値＝▲36.8P ■売上単価 【製造業】売上(加工)単価 前年同期比 DI 値＝0.0P 【小売業】客単価 前年同期比 DI 値＝▲19.3P 【サービス業】客単価 前年同期比 DI 値＝▲25.3P [見通し] ■売上高 【製造業】売上(加工)額 前年同期比 DI 値＝▲34.0P 【建設業】完成工事(請負工事)額 前年同期比 DI 値＝▲18.6P 【小売業】売上額 前年同期比 DI 値＝▲45.0P 【サービス業】売上(収入)額 前年同期比 DI 値＝▲41.1P ■売上単価 【製造業】売上(加工)単価 前年同期比 DI 値＝▲6.1P 【小売業】客単価 前年同期比 DI 値＝▲33.7P 【サービス業】客単価 前年同期比 DI 値＝▲23.4P</p>
<p>(3) 原材料、燃料、仕入価格の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し</p>	<p>[現状] 【製造業】原材料仕入単価 前年同期比 DI 値＝40.8P 【建設業】材料仕入単価 前年同期比 DI 値＝45.2P 【小売業】商品仕入単価 前年同期比 DI 値＝18.1P 【サービス業】仕入単価(材料等) 前年同期比 DI 値＝15.9P [見通し] 【製造業】原材料仕入単価 前年同期比 DI 値＝28.6P 【建設業】材料仕入単価 前年同期比 DI 値＝45.2P 【小売業】商品仕入単価 前年同期比 DI 値＝ 8.7P 【サービス業】仕入単価(材料等) 前年同期比 DI 値＝15.1P</p>

<p>(4) 収益の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し</p>	<p>[現状] 【製造業】 前年同期比 DI 値＝▲40.8 P 【建設業】 前年同期比 DI 値＝▲13.9 P 【小売業】 前年同期比 DI 値＝▲41.0 P 【サービス業】 前年同期比 DI 値＝▲49.0 P</p> <p>[見通し] 【製造業】 前年同期比 DI 値＝▲30.6 P 【建設業】 前年同期比 DI 値＝▲14.0 P 【小売業】 前年同期比 DI 値＝▲46.9 P 【サービス業】 前年同期比 DI 値＝▲46.6 P</p>
<p>(5) 設備投資の動向 現状（４－６月期） 来期（７－９月期）の見通し</p>	<p>[現状] 【製造業】 回答 50 社の内、8 社実施 ・土地、工事建物、車両運搬具、付帯施設＝各 1 社 ・生産設備＝3 社 ・その他＝3 社 【建設業】 回答 43 社の内、10 社実施 ・土地・OA 機器＝各 1 社 ・建物＝2 ・建設機械＝3 社 ・車両運搬具＝5 社 【小売業】 回答 83 社の内、6 社実施 ・店舗、販売設備、その他＝各 1 社 ・車両運搬具、OA 機器＝各 1 社 【サービス業】 回答 107 社の内、8 社実施 ・建物、OA 機器、その他＝各 2 社 ・サービス＝3 社 ・車両運搬具＝1 社</p> <p>[見通し] 【製造業】 回答 50 社の内、6 社計画 ・生産設備＝3 社 ・車両運搬具＝1 社 ・その他＝2 社 【建設業】 回答 43 社の内、10 社計画 ・土地、その他＝各 1 社 ・建設機器、車両運搬具＝各 4 社 【小売業】 回答 83 社の内、2 社計画 ・車両運搬具、OA 機器＝各 1 社 【サービス業】 回答 107 社の内、7 社計画 ・建物＝4 社 ・車両運搬具＝2 社 ・OA 機器＝1 社</p>
<p>(6) 雇用の動向 ①現状（４－６月期）の人手過不足 （正規、非正規別の状況等） ②来期（７－９月期）の見通し ・人手余剰の場合の雇用調整等 ・人手不足の場合の採用等</p>	<p>[人手過不足の現状] 【製造業】 前年同期比 DI 値＝4.4 P 来期見通し DI 値＝2.2 P 【建設業】 前年同期比 DI 値＝▲7.2 P 来期見通し DI 値＝▲4.7 P 【小売業】 前年同期比 DI 値＝▲10.9 P 来期見通し DI 値＝▲11.1 P 【サービス業】 前年同期比 DI 値＝▲6.6 P 来期見通し DI 値＝▲6.5 P</p>

(7) 資金繰りの動向 現状（4－6月期） 来期（7－9月期）の見通し	[現状] 【製造業】 前年同期比 DI 値＝▲26.6P 【建設業】 前年同期比 DI 値＝ 0.0P 【小売業】 前年同期比 DI 値＝▲25.0P 【サービス業】 前年同期比 DI 値＝▲44.3P
	[見通し] 【製造業】 前年同期比 DI 値＝▲34.7P 【建設業】 前年同期比 DI 値＝▲ 7.2P 【小売業】 前年同期比 DI 値＝▲30.8P 【サービス業】 前年同期比 DI 値＝▲41.9P

2 業界として抱える問題点・課題について

【製造業】 1位：需要の停滞 2位：原材料価格の上昇 2位：その他 4位：製品ニーズの変化 4位：製品単価の低下・上昇難		
【建設業】 1位：官公需要の停滞 2位：従業員の確保難 3位：民間需要の停滞 4位：熟練技術者の確保難 5位：人件費の増加		
【小売業】 1位：需要の停滞 2位：購買力の他地域への流出 3位：大型店・中型店の進出による競争の激化 4位：その他 5位：消費者ニーズの変化		
【サービス業】 1位：需要の停滞 2位：その他 3位：利用者ニーズの変化 4位：従業員の確保難 5位：材料等仕入れ単価の上昇		

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
<p>(1) 業界団体における業況感</p> <p>①現状（4－6月期）</p> <p>②来期（7－9月期）の見通し</p>	<p>○食料品製造業（水産食料品：留萌）</p> <p>①やや悪い</p> <p>②やや悪い</p> <p>○木材・木製品製造業（一般製材）</p> <p>①「やや悪い」から「非常に良い」まで、事業者によって様々な状況が窺える。</p> <p>②事業者によるが、おおむね「横ばい」から「非常に良い」傾向にある。上向いていくと考えている事業者が多い。</p> <p>○紙・紙加工品製造業（加工紙）</p> <p>①やや悪い</p> <p>②やや悪い</p> <p>○印刷業</p> <p>①悪い</p> <p>②悪い</p> <p>○窯業・土石製品製造業（生コン）</p> <p>①横ばい</p> <p>②横ばい</p> <p>○鉄鋼・金属製造業（金属製品・室蘭）</p> <p>①良い</p> <p>②やや良い</p> <p>○一般機器製造業（金属工作機械・札幌）</p> <p>①やや悪い</p> <p>②横ばい</p> <p>○卸売業（各種商品：札幌）</p> <p>①悪い：緊急事態宣言の影響が大</p> <p>②悪い：五輪後のコロナ感染拡大に大きな懸念</p> <p>○卸売業（野菜・果実：札幌）</p> <p>①良い</p> <p>②悪い</p> <p>○卸売業（木材）</p> <p>①良い</p> <p>②良い</p> <p>○小売業（各種商品：函館）</p> <p>①悪い：コロナ禍が未だ収まらず、インバウンド観光客の皆無や国内観光客の減少など函館朝市を取り巻く環境は大変厳しい状態が続いている。</p> <p>②やや良い：東京五輪・パラリンピックが延期となった昨年と違い、今年は無観客とはいえ無事に開幕し、それにより、祝祭日も移動となり、7月は大型の4連休となった。天候にも恵まれ、久しぶりに多くの観光客で賑わったが、反面、新型コロナウイルス感染拡大で外出自粛が求められる中でもある、これからの夏休みシーズンに向け不安な面もある。</p> <p>○小売業（農業用機械器具）</p> <p>①やや良い</p> <p>②やや良い</p> <p>○サービス業（公衆浴場）</p> <p>①やや悪い</p> <p>②やや悪い</p> <p>○サービス業（ソフトウェア）</p> <p>①やや良い：コロナ禍の収束が見通せない中ではあるが、企業</p>

	<p>のDX化やAI、IoTへの投資、クラウドサービスの導入は必要な業務効率化であることを反映してシステム開発投資が伸びている。4～6月期は道内の中小システム開発IT企業への案件が増加して業績が上昇している。</p> <p>②良い：7～9月期も引き続いてシステム開発案件が伸びると予測、人手不足が叫ばれてはいるが、業績の伸長が続くと予測している。</p> <p>○サービス業（自動車整備）</p> <p>①やや良い</p> <p>②横ばい</p> <p>○運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）</p> <p>①やや悪い</p> <p>②横ばい</p>
<p>(2) 売上高、売上単価の動向</p> <p>①現状（4～6月期）</p> <p>②来期（7～9月期）の見通し</p>	<p>○食料品製造業（水産食料品：留萌）</p> <p>①減少傾向</p> <p>②減少</p> <p>○木材・木製品製造業（一般製材）</p> <p>①事業者から下記の声があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要はコロナ禍以前に回復している。 ・売上高前年比 126%、一昨年比 92% ・単価は変わらず ・前期比 120% 販売数量増加、単価で約 10%値上がり ・売上単価前年比 道産製材 110%、輸入製材 144% <p>②事業者から下記の声があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上期は順調に推移する予測である。 ・現状の忙しい状況は変わらないが、原木確保が難しいことから、仕入単価アップと歩留まり低下により収益は悪化することも想定される。 ・昨年下げた分の値戻しを実施した結果、売上高は前年比 110%、売上単価は前年比で道産製材 108%、輸入製材 180%だった。要因として、売上高はコロナの影響で昨年の売上高が低かったため、売上単価は前年に地域材利用公共建築物向けの製材が多かったためと推察される。 ・増加の見込み（乾燥材は例年の倍の受注）。単価も更に 10%以上の値上げを予定。 <p>○紙・紙加工品製造業（加工紙）</p> <p>①前年同期と比較すると若干良くなっているが厳しい経営状況が続く。</p> <p>②若干良くなっているが見通しとしては厳しい。</p> <p>○印刷業</p> <p>①横ばい</p> <p>②横ばい</p> <p>○窯業・土石製品製造業（生コン）</p> <p>①売上単価上昇傾向</p> <p>②同左</p> <p>○鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）</p> <p>①修繕船、橋梁陸機ともに売上高増</p> <p>②修繕船のみ売上高増で橋梁陸機は売上高減の予想</p> <p>○一般機器製造業（金属工作機械：札幌）</p> <p>①緊急事態宣言もあり、イベント自粛等により悪影響</p> <p>②感染拡大傾向にあり、長引く自粛ムードを懸念</p> <p>○卸売業（各種商品：札幌）</p> <p>①北海道の緊急事態宣言の影響で売上・単価ともに低下</p> <p>②コロナ感染状況に改善が見られず悲観的</p> <p>○卸売業（野菜・果実：札幌）</p> <p>①予想に反し、小売部門の伸びが良かった</p>

	<p>②コロナ第5波の影響で悪化と思われる</p> <p>○卸売業（木材）</p> <p>①20～30%増</p> <p>②10%増程度の見通し</p> <p>○小売業（各種商品：函館）</p> <p>①今年のGWは、緊急事態宣言下で迎えた昨年とは違い、飲食店を中心に久しぶりに行列も見られ、駐車場利用も軒並みコロナ禍前のような混雑が見受けられた。一方で、物販店は、全くといっていいほど売上がなく消費レベルの低さが如実に表れ、又、GW終了後の緊急事態宣言によって、今も尚、エリア内には全く人が歩いていない状況が続いている。</p> <p>②GW期間中、唯一予定されていた5月2日のクルーズ客船の寄港も乗客1人に感染者が発症したため中止となり、その後も豪華客船「飛鳥Ⅱ」クルーズが、7月中旬まで全て中止となる発表があった。物販店においては、益々厳しい情勢となってくる。</p> <p>○小売業（農業用機械器具）</p> <p>①農機業界は、昨年度より若干の改善（補助事業あり）</p> <p>②昨年同月より、若干の上向き</p> <p>○サービス業（公衆浴場）</p> <p>①大きな変化はない</p> <p>②横ばい状態</p> <p>○サービス業（ソフトウェア）</p> <p>①業績が回復している製造業に限らず、業種を問わずにシステム開発投資が積極化していることを反映して、道内の中小システム開発IT企業も案件受注が増加して売上はコロナ禍前まで拡大しつつある。</p> <p>②7～9月期も引き続いて案件受注が伸長する見込みのため、売上も伸びると予測する道内中小IT企業が多い。</p> <p>○サービス業（自動車整備）</p> <p>①昨年の実績を上回る継続検査台数の実績となった。</p> <p>②継続検査（車検）の台数統計では、昨年7月の実績がコロナウイルスの対策による車検時期の延伸があったことにより車検が増加したが、業務量の平滑をしている事業者がおり、6月に前倒しがあったことから横ばいと思われる。</p> <p>○運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）</p> <p>①コロナで緊急事態宣言下、運送全般では昨年同様伸びはないが、新幹線工事に絡むダンプは常時動いている。</p> <p>②オリンピックで一息つける予定だが無観客開催となり、バス、物流とも誤算が生じてくるとと思われる。</p>
<p>(3) 原材料、燃料、仕入価格の動向</p> <p>①現状（4～6月期）</p> <p>②来期（7～9月期）の見通し</p>	<p>○食料品製造業（水産食料品：留萌）</p> <p>①上昇傾向</p> <p>②上昇</p> <p>○木材・木製品製造業（一般製材）</p> <p>①事業者から下記の声があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相対的に入荷は乏しく、価格は6月に入り入荷に合わせ値上がり（昨年より500円/m³程度）の基調となっている。 ・昨年下げた分の値戻しを実施した。 ・原材料は、4～5月と入荷が少なく、6月に入って増加。6月末で0.8ヶ月分、価格も平均で1,000円/m³の値上がり。乾燥用燃料（灯油）も10%程度値上がりしている。 ・事業者によっては、変わっていないところもある。 <p>【参考動向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木入荷量 前年比 トド37% カラ83% ・原木仕入価格 流通材は入荷少ないが前年同等 <p style="text-align: right;">国有林落札価格は流通単価比130%以上</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入原木入荷量 北海道入荷見通しなし 本州より二次輸送を検討中。 ・輸入原木仕入価格 工場着値で前年比 200%以上の試算 <p>②事業者から下記の声があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価格はもう一段上昇（昨年より 500 円/m³程度）の見込み、入荷は使用量並み。 ・単価を上げてても入荷量はそんなに増えないことも想定 ・国有林システム販売が協定出来たことから、当面は確保出来る見込みであるが、民間、公売とも値上がりとなる見通し。30～40%上がると考えている。 ・更なる原木不足・価格高騰が懸念されるが、北米製材価格や需要の下落情報もあり、輸入原木・製材価格下落や入荷増の影響も懸念されるため、見通し不透明 ・石油価格高騰のため、生産・流通コストが増加する見通し。 <p>○紙・紙加工品製造業（加工紙）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特に変化なし ②特に情報はない <p>○印刷業（印刷）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①横ばい ②横ばい <p>○窯業・土石製品製造業（生コン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①原材料費、人件費、輸送費等が増加傾向 ②同左 <p>○鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①価格現状維持 ②価格若干上昇予想（造船鋼材値上げ予想） <p>○一般機器製造業（金属工作機械：札幌）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①燃料は上昇傾向 ②燃料は上昇傾向 <p>○卸売業（各種商品）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①諸外国の景気回復傾向から輸入製品は上昇 ②原油価格の高騰による影響が大きくなると見込まれる <p>○卸売業（野菜・果実：札幌）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①価格は高値推移 ②天候の影響で高値だが緊急事態宣言が全国的に発令された場合は安値転落もあり得る <p>○卸売業（木材）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①価格高騰 ②価格高騰の見通し <p>○小売業（各種商品：函館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①函館市は天然資源依存の漁業から育てる漁業への脱却を目指し、今年度からキングサーモンの養殖事業に乗り出し、技術研究費などに 5,915 万円を計上。純粋なキングサーモンの養殖が成功すれば国内で初となり、函館ブランドのご当地サーモンとして高い付加価値が期待できる。 ②函館市水産物地方卸売市場での解禁月（6月）の生鮮スルメイカ取扱量は、前年比 44.7%減の 26 トンで、統計の残る 2005 年以降では、単月として 18 年の 31 トンを割り込み過去最低を更新したとのこと。量が少ないうえに魚体も小さく、又、7月に入って前浜の津軽海峡に船が出てもいい時期だが、未だ松前沖に漁に出ている状況を見ると、今年は燃油代の高騰から、漁師は相当大変な状況であるとの見解のようである。 <p>○卸売業（農業用機械器具）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①昨年度より高騰
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>②少しずつ高騰していく</p> <p>○サービス業（公衆浴場）</p> <p>①特にはない</p> <p>②横ばい状態</p> <p>○サービス業（ソフトウェア）</p> <p>①システム開発案件の受注が伸長すると、IT企業の原価である開発人材の増加が必要となるが、一朝一夕に必要な人材の確保は難しい。人材確保のための人件費の上昇も避けられず、売上が伸びても利益には必ずしも貢献していない。</p> <p>②人材数の確保はこの先長期にわたって続く見通し。人件費の上昇は避けられず、収益確保のために7～9月期は発注元との一進一退の単金引き上げ交渉が続くことになりそうだ。</p> <p>○サービス業（自動車整備）</p> <p>①やや良い</p> <p>②横ばい</p> <p>○運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）</p> <p>①ワクチン接種数が世界的に多くなることで、経済が活発化するだろうとの思惑から、原油価格が上昇を続けている。</p> <p>②世界的に再度感染が拡大していることから、上がりすぎた原油等も上昇の勢いがなくなってきており、原油価格は落ち着くものと思われていますが、金属類の価格上昇は続く可能性がある。</p>
<p>(4) 収益の動向</p> <p>①現状（4～6月期）</p> <p>②来期（7～9月期）の見通し</p>	<p>[製造業]</p> <p>○食料品製造業（水産食料品：留萌）</p> <p>①やや悪化</p> <p>②やや悪化</p> <p>○木材・木製品製造業（一般製材）</p> <p>①事業者から下記の声があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要の回復により収支は改善しつつある。 ・今は昨年下げた原材料を使っていることから、何とか収益は確保できている。 ・サングの需要が戻っているが、歩留まりの悪い建築向け乾燥材が足を引っ張っており、値上がり分も利益までには届いていない。 ・コスト増により収益性は悪化しているが、昨年度比では良い状況である。 <p>本年度：販売増加、仕入過少（在庫過少） 昨年度：販売不振、仕入過多（在庫過多）</p> <p>②事業者から下記の声があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料価格の上昇により、製品の値上げが通る9～10月まで収支は悪化すると予測している。 ・7月より原材料の値戻しを行うことで収益は悪化することが見込まれる中、製材価格がどの辺のタイミングで値上げが達成できるかにより収益に影響する。 ・更なる製品の値上げで、利益確保をしたい。 ・原材料等の仕入コスト及び生産・流通コストの高騰により、収益性は悪化することも考えられる。 <p>○紙・紙加工品製造業（加工紙）</p> <p>①やや悪化</p> <p>②やや悪化</p> <p>○印刷業</p> <p>①悪い</p> <p>②悪い</p> <p>○窯業・土石製品製造業（生コン）</p> <p>①変わらず</p>

	<p>②変わらず</p> <p>○鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）</p> <p>①修繕船の収益は増収、橋梁陸機も収益増収</p> <p>②修繕船のみ収益増収で橋梁陸機は減収予想</p> <p>○一般機器製造業（金属工作機械：札幌）</p> <p>①売上高減により、連動して収益も減</p> <p>②変化なし</p> <p>○卸売業（各種商品：札幌）</p> <p>①売上の減少により収益は悪化</p> <p>②五輪後の感染拡大が懸念され悲観的</p> <p>○卸売業（野菜・果実：札幌）</p> <p>①良好</p> <p>②悪化の予想があると思われる</p> <p>○卸売業（木材）</p> <p>①20～30%増</p> <p>②10%増程度の見通し</p> <p>○小売業（各種商品：函館）</p> <p>①旅行に行くこともままならない市民層をターゲットに新たな企画として、6月7日から、参加店が1000円で食べられるランチを提供する「千満ランチ～1000円で大満足」と、500円以内のテークアウト商品などを販売する「ワンコインセール」を実施し、スタートから順調に推移し、おかげさまで想定を上回る利用となっている。</p> <p>②7月9日に終了した地元客向けの「千満ランチ＆ワンコインセール」では、「おでかけリハビリ推進協議会」と連携し、独自のスマホ決済「サポートペイ」も活用したが、今回の実績を試金石として、秋には地域連携として大手のQRコード決済メーカーにも声掛けし、広域での実施も検討している。</p> <p>○卸売業（農業用機械器具）</p> <p>①昨年度並みの業績</p> <p>②昨年度並みの業績を確保出来るよう努力</p> <p>○サービス業（公衆浴場）</p> <p>①大きな変化はない</p> <p>②増加の期待はできない</p> <p>○サービス業（ソフトウェア）</p> <p>①受注案件の増加が売上への伸長につながっているが、人件費や設備投資コストも上昇して収益へのインパクトが大きい。単金の値上げ交渉も難しいため、売上の伸びに比例した利益確保ができていない。</p> <p>②7～9月期も収益が大幅に改善する状況ではない。目先の収益を確保するためにも、開発人材の採用が必要だが、反面、離職者防止のための賃金上昇が避けられない状況が続く。</p> <p>○サービス業（自動車整備）</p> <p>①やや良い</p> <p>②横ばい</p> <p>○運輸業（一般貨物自動車運送：サービス業）</p> <p>①全般では良くない</p> <p>②一部では盛り返す見込み</p>
<p>(5) 設備投資の動向</p> <p>①現状（4～6月期）</p> <p>②来期（7～9月期）の見通し</p>	<p>○木材・木製品製造業（一般製材）</p> <p>①事業者から下記の声があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栈入れ栈ばらし機設置中（中古、5百万円程度） ・ 老朽化設備に対する必要最低限の修理及び部品交換で済ませている。 <p>②事業者から下記の声があった。各事業者とも最小限の準備を進めている様子。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・秋に製材加工機を追加予定あり。 ・モルダー増設予定（27 百万円程度） ・フェラバンチャーザウルスを購入予定。 ○紙・紙加工品製造業（加工紙） <ul style="list-style-type: none"> ①なし ②大きな設備投資はない ○印刷業 <ul style="list-style-type: none"> ①悪い ②悪い ○鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭） <ul style="list-style-type: none"> ①設備投資なし ②予定なし ○一般機器製造業（金属工作機械：札幌） <ul style="list-style-type: none"> ①変化なし ②機械の導入に向け助成金等の活用を検討 ○卸売業（各種商品：札幌） <ul style="list-style-type: none"> ①前向きな設備投資は低調 ②設備投資には消極的 ○卸売業（野菜・果実：札幌） <ul style="list-style-type: none"> ①現状維持 ②悪化 ○小売業（各種商品：函館） <ul style="list-style-type: none"> ①函館市の公共施設「はこだてみらい館」の 2020 年度の入場者数は、前年比 51%減の 3 万 2651 万人、同じく「はこだてキッズプラザ」も 57%減の 4 万 5804 人と新型コロナウイルス感染拡大の影響が直撃した。 ②函館市本町の複合商業施設「シエスタハコダテ」が開業 4 周年を迎えた 4 月 22 日にリニューアルオープンし、新たに地下にできた無印良品の食の専門売り場や道南初出店となるアイウェアブランド「J I N S」、改装した革製品販売の「O Z I O (オジオ)」を目当てに初日から多くの市民で賑わい、その後も新たな賑わい創出が成されている。 ○卸売業（農業用機械器具） <ul style="list-style-type: none"> ①現状維持 ②設備投資なし（現状維持） ○サービス業（公衆浴場） <ul style="list-style-type: none"> ①設備老朽のため入替施設あり ②同上 ○サービス業（ソフトウェア） <ul style="list-style-type: none"> ①老朽化した開発機材の更新やリモートワークインフラの充実等、必要最小限な設備投資は実施できている。 ②今後も増加する在宅勤務者の増加でテレワーク絡みの通信設備やセキュリティ確保への投資が拡大する半面、賃貸オフィス面積を縮小する動きが加速しそうだ。 ○サービス業（自動車整備） <ul style="list-style-type: none"> ①横ばい ②横ばい ○運輸業（一般貨物自動車運送：小樽） <ul style="list-style-type: none"> ①抑えている ② ①の傾向が続く見込み。
<p>(6) 雇用の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ①現状（4－6 月期）の人手過不足（正規、非正規別の状況等） ②来期（7－9 月期）の見通し <ul style="list-style-type: none"> ・人手余剰の場合の雇用調整等 ・人手不足の場合の採用等 	<ul style="list-style-type: none"> ○食料品製造業（水産食料品：留萌） <ul style="list-style-type: none"> ①慢性的人手不足 ○木材・木製品製造業（一般製材） <ul style="list-style-type: none"> ①地域によっては、大変不足している。工場によっては、非正規を 2 人雇用することでぎりぎり足りている状況。下記の声があった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員不足、派遣社員で対応 ・1人～2人足りない ②下記の声があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・事務員1名採用予定、工員については、随時採用する。 ・1人～2人採用予定 ・地方工場は常に募集しているが、応募なし。 ・地域主催の合同企業説明会等へ参加を予定している。 ・【参考意見】 中国人研修生3名8月帰国予定、補充できず(入国ビザ下りず) ○紙・紙加工品製造業(加工紙) <ul style="list-style-type: none"> ①不足していないと感じる ②必要なし ○印刷業 <ul style="list-style-type: none"> ①不足していない ②なし ○鉄鋼・金属製造業(金属製品：室蘭) <ul style="list-style-type: none"> ①OBを臨時雇用している。 ②余剰が発生した場合は高齢者の休職及び他職場へ応援稼働。不足の場合の採用の予定はなし。 ○一般機器製造業(金属工作機械：札幌) <ul style="list-style-type: none"> ①欠員のまま変化なし ②採用の予定はなし ○卸売業(各種商品：札幌) <ul style="list-style-type: none"> ①新卒採用が順調で不足感はない ②コロナの影響が大きい業種では希望退職等で削減方向 ○卸売業(野菜・果実：札幌) <ul style="list-style-type: none"> ①現状維持 ②特になし ○卸売業(木材) <ul style="list-style-type: none"> ①不足 ②なし ○小売業(農業用機械器具) <ul style="list-style-type: none"> ①大手・中小ともに正規社員雇用にて活動 ②余剰による調整予定なし、不足の場合は状況に応じて対応する ○サービス業(公衆浴場) <ul style="list-style-type: none"> ①家族経営が主であり、高齢化しているため人手は欲しい ②雇用調整・採用の予定はなし ○サービス業(ソフトウェア) <ul style="list-style-type: none"> ①4月以降のシステム開発案件の増加によって、開発技術者の数と質の確保が叫ばれているが、容易な採用は難しい状況。離職者防止にも配慮が必要で人手不足状態は今後も続く。 ②道内中小IT企業が必要なのは即戦力の技術者の採用であるが、希望に叶う人材の採用は難しい状況が続くため、シニア技術者や子育て中の在宅女性SE、ギグワーカーの副業等まで拡大して募集するなど、厳しい状態が続いている。最近では、札幌商工会議所や産業雇用安定センターが推進する「在籍型出向制度」を活用する動きも出てきているが、人材不足を解消するのは、時間や手間やコストがかかってなかなか難しい。 ○サービス業(自動車整備) <ul style="list-style-type: none"> ①若年労働者の人材確保が難しい ②予定はなし ○運輸業(一般貨物自動車運送：小樽)
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ①不足している ②常に職安に募集を出し続けて、人材を育てている状況
<p>(7) 資金繰りの動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ①現状 (4-6月期) ②来期 (7-9月期) の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> ○食料品製造業 (水産食料品：留萌) <ul style="list-style-type: none"> ①例年並み ②例年並み ○木材・木製品製造業 (一般製材) <ul style="list-style-type: none"> ①会社によっては、借入増。大きな問題はない模様。 ②下記の声があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・原材料仕入単価によっては、資金不足に陥る。 ・会社によっては、借入増の見通し ・問題ないと思われる。 ○紙・紙加工品製造業 (加工紙) <ul style="list-style-type: none"> ①現状は借入れ等必要なし ②現状は借入れ等必要なし ○印刷業 <ul style="list-style-type: none"> ①横ばい ②横ばい ○鉄鋼・金属製造業 (金属製品：室蘭) <ul style="list-style-type: none"> ①問題なし ②手形サイトの変更なく、問題ないと思われる。 ○一般機器製造業 (金属工作機械：札幌) <ul style="list-style-type: none"> ①変化なし ②変化なし ○卸売業 (各種商品：札幌) <ul style="list-style-type: none"> ①コロナ対策で借入金が増加している ②コロナの収束が見えないと厳しくなる ○卸売業 (野菜・果実：札幌) <ul style="list-style-type: none"> ①良好 ②悪化の懸念がある ○卸売業 (木材) <ul style="list-style-type: none"> ①安定 ②安定 ○小売業 (農業用機械器具) <ul style="list-style-type: none"> ①良好な状態 ②良好 ○サービス業 (公衆浴場) <ul style="list-style-type: none"> ①あまり思わしくない ②同上 ○サービス業 (ソフトウェア) <ul style="list-style-type: none"> ①システム開発案件の伸びによって売上も上昇し、先行きについても楽観視できることから、短期の設備投資や運営資金が必要な場合は取引銀行からの融資で賄っている。 ②7～9月期も同様の動きとなる見通しで、コロナウィルスの感染が急激に拡大しない限り、オリンピック後も案件拡大が見込まれ、業績上昇につながることから資金繰りへの影響はないと予測される。 ○サービス業 (自動車整備) <ul style="list-style-type: none"> ①横ばい ②横ばい ○運輸業 (一般貨物自動車運送：小樽) <ul style="list-style-type: none"> ①厳しいと思われる。 ②コロナの動向による。

2 業界として抱える問題点・課題について

- 食料品製造業（水産食料品：留萌）
 - ・慢性的労働者不足、原材料価格の上昇と仕入れ価格の安定。
- 木材・木製品製造業（一般製材）
 - ・いわゆるウッドショック後に向けて、国産材シェアを拡大させるためには、KDやS4S製品を増産できる体制を今から準備していく必要があります。
 - ・現状での労働者数や働き方改革の条件をクリアしつつ、生産性を上げていく方法と原木を安定的に確保していくことができる方法を確立することが製材工場にとっての課題となっている。
 - ・輸入原木・製材の入荷不足＋価格高騰の長期化で、建築需要の低迷、地場工務店の廃業
 - ・輸入原木・製材の急激な入荷増＋価格下落の懸念
 - ・道産原木の輸出・移出による、道内の原木不足＋価格高騰
 - ・運送業者不足＋輸送費高騰（人材、総輸送量）
 - ・石油価格高騰による、燃料費や電力費等の生産コスト上昇
 - ・地方工場の人材不足（人員数、技術力）
 - ・働き方改革、最低賃金上昇による、生産性低下及び人件費・間接コストの高騰
 - ・製材生産設備の老朽化による、生産性低下。先行き不透明のため、設備更新に慎重姿勢
 - ・人材不足（工員、管理者）、働き方改革で有給休暇取得、ワークライフバランスのための残業時間削減、で増産出来ない。
 - ・原材料の安定確保、増量が見込めない。
 - ・人材確保（若手の担い手が欲しい）
- 印刷業
 - ・需要の減退、消費動向の変化、DXへの対応
- 窯業・土石製品製造業（生コン）
 - ・次世代を担う技術者の育成。
 - ・地方において、生コンを供給する工場体制を維持するためには一定量の需要が必要。このため、地方における生コン需要の創出（コンクリート舗装等）が課題。
- 鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）
 - ・造船業界は高齢者が多く若手技術者の人員確保が厳しい状況におかれている。
- 一般機器製造業（金属工作機械：札幌）
 - ・コロナ禍による自粛が続いており、以前のような売上が確保できるか先行き不透明。
- 卸売業（各種商品：札幌）
 - ・コロナ対策による自粛要請で経済活動が停滞しており個人所得が低迷しているため、消費税等の個人負担感が大きくなっていることが、購買力の低下に拍車をかけている。
- 卸売業（野菜・果実：札幌）
 - システム化の立ち遅れがある。
- 卸売業（木材）
 - ・ウッドショックによる影響により道産材のシェアが増え、需要と供給のバランスが厳しい状況になっている。
- 小売業（各種商品：函館）
 - ・新型コロナウイルスの影響により、無金利の融資制度を活用したのが、およそ一年前のこの時期であり、いよいよ元本の返済が始まってきている。売上促進の支援策が何も成されていない現状では、返済原資が全く生み出せないままの苦しい経営状況になってきており、助成金制度を一度だけではなく状況に合わせて何度か実施していただくなど、効果的な支援対策をとにかくお願いしたい。
- 小売業（燃料）
 - ・コロナ禍が長期化し、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の適用に伴う人流や企業活動の停滞等から主力のガソリン販売が全国的に減少している。大幅な減少となった昨年に比べると増加傾向にあるが、コロナ前の水準には戻っていない。
 - こうした中、原油価格の動向をみると、3月末には一旦落ち着いていたものの、4月中旬以降増加基調で推移し、6月末には1バレル70ドル前半まで高騰するなど、この四半期で10数ドルの価格上昇となっている。このコスト上昇分を適正に転嫁できていない一部安値激戦地では地場中小零細企業の経営環境は厳しい状況にあると思われる。
 - 北海道はこれから観光シーズンを迎えるが、引き続きコロナの影響による販売量の減少が懸念される。
- 小売業（農業用機械器具）
 - ・急激に進む農業人口減少のなかにあっても、農業生産を維持していくために、どのように担い手を確保していくのか、業界全体の課題となります。
- 商店街（各種商品：帯広）
 - ・経営上の問題点…売上の停滞・減少、商圈人口の減少、同業者間の競争の激化、商店街の集客力の低

下、人手不足、利幅の縮小。

- ・当面の重点経営施策…経費を節減する、売れ筋商品を取り扱う、品揃えを改善する、人材を確保する、宣伝・広告を強化する、新しい事業を始める。

○サービス業（公衆浴場）

- ・施設の老朽及び営業主の高齢化並びに後継者問題。

○サービス業（ソフトウェア）

- ・人材確保が難しい

D X化によって業務効率を改善して生産性を上げるために、大手企業から中小企業まで、業種を問わずにデジタル人材の確保が叫ばれ、IT企業を含めて争奪戦が激しい。D X化は、必ずシステム開発が必要であり、そのためにはデジタル人材（開発技術者）が必要ということになる。採用するためには賃金の上昇は避けられず、道内の中小IT企業の採用活動は難しい局面が続いている。

- ・リモートワークと出社のバランスの悩み

システム開発という職種柄、在宅勤務によるリモートワークの実施は他企業に比べて高く、実施企業は80%を越えている。ノウハウの蓄積も進んでいるが、勤務時間管理の難しさや業務処理に対する評価の難しさが叫ばれ始めている。とりわけ、PC画面上での上司・同僚との非対面交流はコミュニケーション（会話）不足になりがちで、フォローの充実が必要との悩みが生じている。そのため、週1～2回の出勤を織り交ぜる道内中小IT企業も多くなってきている。

○サービス業（自動車整備）

- ・電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車の様な次世代自動車などに代表される整備技術の高度化に向けた対応が求められている。
- ・若年労働者の人材確保が難しくなっている。

○運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）

- ・毎期同じだが、人材不足、ドライバーの高齢化。

3 道の施策等に対する意見、要望について

○木材・木製品製造業（一般製材）

- ・ウッドショックに対応した設備が早期に準備できるような支援策を期待します。
- ・道有林からの素材供給拡大に向けて、特例で皆伐を増やして現状の不足感を少しでも緩和することができませんでしょうか。
- ・北海道だけでなく、日本全国的に今後は資源量に製材工場は経営を左右されるだろう。中国をはじめ韓国や台湾など東アジアの木材需要によって、日本の木材輸入の量が左右されそのことからまさしく今の“ウッドショック”のように国内での木材価格も木材輸入量によって決まることになるだろう。もうすでに遅きに失してはいるが一日でも早く資源量確保に舵を切らなければならない。
- ・年度毎の事業や予算執行について、柔軟な対応をお願いしたい。
例：過剰木材の保管、利用事業、CLT関連助成等。
- ・川上、川下どちらにも責任を負うので、一方に負担を強いることの無いような施策の組み立てをお願いしたい。利用推進をしておきながら、供給出来ないというわけにはいかない。

○窯業・土石製品製造業（生コン）

- ・ライフサイクルコストで有利となるコンクリート舗装の普及拡大。

○卸売業（各種商品：札幌）

- ・国民の多くが現時点での開催を望んでいなかった五輪を強行した結果、緊急事態宣言の訴求力は失われ、首都圏ではコロナ感染が大幅に拡大している。道内に波及することも必至の状況にあり、自粛を要請するだけでなく検査の拡充・隔離施設の整備・医療体制の確保等積極的な対策を取ってほしい。ワクチンは重症化を防ぐ効果はあるが、抗体の有効期間もあり感染を防止するものではないので今の時点で過度に期待してはいけない。

○卸売業（野菜・果実：札幌）

- ・北海道の予算を活用した緊急事態宣言下における業界保護をお願いしたい。

○卸売業（木材）

- ・補助事業（木材加工等）をもっと増やして欲しい。

○小売業（各種商品：函館）

- ・今回の緊急事態宣言においては、当団体の各店舗は、休業要請の支援対象から全て外れている。夜営業を制限するのは理解できるが、そうであるならば、アルコール提供を11時～19時とするのではなく、開始は謳わず19時までとしていただきたい。お客様は何もわからず、朝にアルコールは飲めないと認識してしまっているので、僅かながらの消費も増えてこない。
又、一方では、補償もさることながら、経済施策も打っていただかないと、いよいよ廃業を考える店舗が頻発してくる状況である。先々ではなく、まさに今、目の前の支援策をお願いしたい。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

- ・コロナウイルス感染防止のための対策を思いきり講じてほしい。北海道は他府県と津軽海峡で分断されているので札幌を中心に、ワクチンの短期間での大量接種の拡大等、独自の対策は打ちやすいし、結果も出やすい。早期の収束を願うばかり。

II 特別調査

○新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

会員企業や団体等において、感染拡大を防止するための接触機会低減策として取り組んでいることや課題

○食料品製造業（水産食料品：留萌）

お昼休みを時差で取っている。

○木材・木製品製造業（一般製材）

- ・身内や子供の学校関係で感染者が出た、若しくは PCR 検査中の場合は自宅待機として陰性が確認されれば出勤可としている。
- ・ワクチン接種率の向上に向けた早急の対応が求められる。
- ・会社としてワクチン接種に協力（接種日、時間を合わせる）

○紙・紙加工品製造業（加工紙）

- ・営業・業務・経理のテレワーク実施の方向で各社それぞれ進めているが、生産工場の社員は無理なので接触を避ける方法を取っている。

○印刷業

- ・顧客の面談ができないため新規提案が難しい。

○窯業・土石製品製造業（生コン）

- ・リモート会議
- ・電子決裁システム

○鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）

- ・下記基本方針の周知徹底指導を実施。

（新型コロナウイルスに対する基本方針（函館どつく室蘭協会の）

1. 予防について

- (1) 手洗いの徹底（アルコール消毒液の活用）
- (2) マスクの着用（原則マスク着用を要する）
- (3) 普段の健康管理（睡眠とバランスの良い食事）
- (4) ソーシャルディスタンスの確保（2 m以上）
- (5) 密対策（換気の悪い密閉空間・多数が集まる密集場所（換気～30分に1回以上窓を全開換気）
- (6) 出張・来客対応の要否判断（業務の運営上必要な場合のみとし責任者が要否の判定をする）
- (7) 飲食を伴う会食について（5人以上は自粛、長時間におよぶ飲食深夜のはしご酒は禁止）
- (8) 検温の実施（体調記録表を作成～自宅で朝・夜2回検温の実施～1週間単位体調管理表を提出）

2. 体調が悪い場合

- (1) 体調が悪い場合（出社せず自主的に会社を休むこと～発熱・倦怠感・咳・のどの痛み・味覚・嗅覚の異常・筋肉関節の痛み・吐き気）

3. 感染が疑われる場合

- (1) 出社せず自主的に会社を休み直ちに都道府県に設置されている帰国者・接触者相談センターに相談すること

○一般機器製造業（金属工作機械：札幌）

- ・得意先への訪問自粛、オンラインによる会議等を実施。

○卸売業（各種商品：札幌）

- ・時差出勤実施中
- ・ワクチンに関しては接種・副反応による欠勤も含めて災害対応に準じた特別休暇とする。

○卸売業（野菜・果実：札幌）

- ・ネット会議等

○小売業（各種商品：函館）

- ・職域接種については、当団体でも検討したが、ワクチンの供給もさることながら、人集めなど受入準備には奔走できるが、打ち手側の準備までは情報もなく厳しいところだった。医師の確保は出来たものの、その協力医師自体が全く準備のノウハウがなく、医師には手当てがあるにも関わらず、お膳立てすれば身一つで協力しますといった具合で、なぜ準備する側の負担が大きくなるのか解せない。

一方で、団体予約などが出来ないものか調べたところ、協力いただける病院もみつきり、ワクチンの供給も間に合っていることから、今すぐにも接種できる手筈は整っていた。しかしながら、やはり接種券のある・無いがネックとなり、特に60歳以下の対象者は、接種券が届くまで、只々待機するだけとなっている。需要と供給が合致しているこのような状況においては、団体予約のようなケース

においても、職域接種と同様に、接種券がなくても接種できるような体制にしていきたい。

○小売業（燃料）

- ・各 SS では、全国石油商業組合連合会策定の「ガソリンスタンドにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に基づき、「就業前等、日常の対応」「営業時間、就業体制」「給油サービス等における注意点」「感染者が発生した場合の対応」の実践に適宜取り組んでいる。

○小売業（農業用機械器具）

- ・ワクチン接種推進（但し希望者のみ）
- ・テレワーク（大手企業のみ）

○サービス業（公衆浴場）

- ・リモート会議に一部切り替え

○サービス業（ソフトウェア）

- ・前回(1～3 月期)同様の新型コロナウイルス感染拡大防止策を継続している。もし、自社内で感染者が発生した場合、業務の停止は避けられず、会社業績へのダメージだけでなく事業経営の存続にも発展しかねないので、常日頃からしつこく注意と指示を続けている。事務所内での作業は隣接者とのソーシャルディスタンスのキープやアクリル板の設置は当然として、定時間毎の換気はもちろん、
 - ・飲食店では黙食
 - ・通勤の際の地下鉄、JR、バスでの黙乗
 - ・出勤時や外出時の検温とマスク着用と帰宅時のうがい・手洗いの励行の徹底を指示している道内中小IT企業が多い。

I 一般調査

1 業界の動向について

項目	内容
(7) 資金繰りの動向	<p>[現状]</p> <p>○保証状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度（6月末時点）の保証承諾は5,225件（前年同月比16.1%）、67,217百万円（前年同月比10.5%）となり、無利子無担保の「新型コロナウイルス感染症対応資金」等の取扱が大幅に増加した昨年度の反動から大きく減少した。 業種別（主要業種）では、建設業18,227百万円（前年同月比11.4%）、サービス業13,212百万円（前年同月比10.8%）、卸売業9,148百万円（前年同月比11.0%）、小売業7,357百万円（前年同月比9.4%）、製造業5,870百万円（前年同月比9.2%）となった。 <p>○代位弁済状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度（6月末時点）の代位弁済は、151件（前年同月比63.4%）、1,269百万円（前年同月比71.0%）となり、新型コロナウイルスの影響を受けた中小企業者への積極的な保証支援や柔軟な返済緩和対応等を背景に、低水準での推移が継続している。 業種別（主要業種）では、建設業86百万円（前年同月比29.2%）、卸売業240百万円（前年同月比72.1%）、小売業97百万円（前年同月比24.7%）、製造業199百万円（前年同月比67.1%）、サービス業380百万円（前年同月比268.9%）となった。